

保護者の皆様

東大阪市立西堤小学校

校 長 松田 至弘

令和 4 年度学校改善アンケート結果について

大寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素は本校教育活動にご理解ご協力ありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました学校教育改善アンケートへのご協力ありがとうございます。年末のお忙しい中にもかかわらず70%を超える保護者の皆様方からご回答をいただくことができました。その集計結果をご報告させていただきます。児童アンケートにつきましては就業中に実施しており、ほぼ全員の回答を得ることができています。これらの結果の分析を行い、今後の教育活動に生かしてまいります。

[保護者回答結果]

	肯定的回答	
	今年度	前年度
子どもと一緒によく食事をとりますか	98%	99%
子どもとよく会話をしますか	99%	98%
子どもと一緒に読書をしたり、図書館へ行ったりしますか（ひがしおおさか電子図書館の利用も含む）	26%	31%
子どもは学校へ行くのを楽しみにしていますか	88%	87%
子どもは家庭でどれくらい学習していますか	31%	33%
学校からの宿題の量についてどう思いますか	90%	87%
子どもの携帯電話の通話やメールの内容は把握していますか＜所持させていない場合は回答不要＞	83%	69%
子どもに役割（仕事）等をもたせ、それを褒めていますか	70%	71%
子どもの努力を認め、励ましていますか	96%	95%
授業参観や学級懇談会に積極的に参加しますか	96%	96%
中学校区の「めざす子ども像」を知っていますか	21%	20%
地域において、子育ての悩みや不安を相談できる人がいますか	75%	76%
P T A 活動や地域行事は子どもの教育に効果があると思いますか	72%	73%
学校での学力向上の取組み内容をご存知ですか	58%	46%
学校での学力向上の取組みは良いと思いますか	84%	79%
学校を信頼していますか	92%	90%
学校は、児童生徒の健康や安全について配慮していると思いますか	86%	92%
学校は、子ども一人ひとりの個性を大切にしていると思いますか	84%	83%
学校は、子どもの努力を認め、励ますようにしていると思いますか	86%	87%
学校は、子どものよい点を認めるようにしていると思いますか	88%	89%
学校は、互いの違いを認め合える活動をしていると思いますか	81%	82%
学校は、いじめの防止に取り組んでいると思いますか	72%	69%
学校は、何でも相談しやすい環境を整えていると思いますか	68%	73%
子どもが小1から高3まで活用する「キャリア・パスポート」に書いた内容をもとに、子どもと会話をしますか	35%	24%
SDGs等の社会課題について、子どもと会話することがあります	34%	24%
学校の教育活動（授業や行事の取組みなど）において中学校区内の学校間とのつながりを感じることはありますか	61%	
学校の教育方針や活動内容について関心がありますか	76%	77%
学校が保護者に伝える連絡等は適切であり、積極的に行っていると思いますか	81%	85%
学校が発行した「家庭学習の手引き」は役に立ちましたか	68%	66%
学習内容や生活の様子を家庭への連絡や懇談会、通信等でよく知ることができていますか	84%	83%
先生は子どものことについて気軽に相談に応じてくれると思いますか	87%	89%
学校は子どもの安全を守るため、保護者や地域と連携していると思いますか	85%	90%
授業参観や学級懇談会の回数や時期は適切だと思いますか	90%	88%
PTA活動や地域活動によく参加されていますか	30%	33%

[児童回答結果]

	肯定的回答	
	今年度	前年度
朝食を毎日食べていますか	92%	93%
ふだん（月～金曜日）、何時ごろに起きますか	53%	57%
ふだん（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか	79%	80%
自分には、よいところがあると思いますか	84%	78%
将来の夢や目標を持っていますか	91%	90%
自分と他の人との違いを大切にすることができますか	95%	95%
あなたは人の役に立っていると感じることはありますか	78%	73%
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	91%	92%
いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか	96%	95%
家で、学校の授業の復習をしますか	56%	52%
家で学校の宿題をしていますか	94%	92%
学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(1時間以上)	46%	38%
土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(1時間以上)	33%	34%
学校の決まりを守っていますか	94%	92%
友だちとの約束を守っていますか	97%	97%
国語の授業内容は、よく分かりますか	91%	91%
読書（ひがしおおさか電子図書館の利用も含む）は好きですか	76%	68%
算数の授業内容はよくわかりますか	89%	86%
外国語活動の授業は好きですか	90%	86%
外国語活動の授業中に先生や友達と英語を使って簡単なコミュニケーションをとることができますか	75%	76%
授業で学んだ英語を使って、外国の人とコミュニケーションをとりたいですか	73%	68%
学校へ来るのは楽しいですか	84%	83%
どのくらい学校の図書室に行って、本を読んだり調べたりしますか（授業中はのぞく）	39%	43%
ふだんの授業では、授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか	92%	90%
ふだんの授業では、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っていると、思いますか	89%	87%
ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が、与えられていると、思いますか	85%	82%
ふだんの授業では、最後に学習内容を、振り返る活動を、よく行っていると、思いますか	84%	86%
ふだんの授業では、やる気をもって授業に取り組んでいますか	86%	88%
授業で学んだことを、ほかの学習やふだんの生活に生かしていますか	82%	82%
先生は、あなたの努力を認め、はげましてくれますか	84%	85%
先生は、あなたのよいところを認めてくれますか	86%	87%
困ったときに、相談できる人がいますか	87%	86%
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか	85%	88%
自分の健康を考え、体を大切にしていますか	88%	91%
「キャリア・パスポート」を使って、これまでの成長を振り返ったり、学習を見通したりしつつ、これからのことについて考えることができますか。	57%	59%
世の中に解決したい社会課題がありますか（何をすべきか考えることがありますか）	73%	73%
SDGs等の社会課題について、家族や友だちなど周りの人と話し合うことがありますか	61%	45%
将来、自分で（他者と協力して）社会を変えられると思いますか	58%	62%
ふだんの授業で、グループ学習やペア学習に進んで取り組んでいますか	89%	84%
学校の休み時間、いっしょに遊ぶ友だちはいますか	91%	82%
校外学習などの学校の行事は楽しいですか	93%	85%
勉強がわからないとき、先生や友だちにきくことができますか	86%	82%
むずかしい問題にもあきらめずに努力していますか	89%	89%
次の学年での学校生活や学習は楽しみですか	82%	
前の学年までに学んだこと（知識や経験）を、今の学年の学習に役立てていますか	89%	
普段の学校生活（授業や行事の取組みなど）で中学校（後期課程）や他の学年とのつながりを感じることはありますか	77%	

[保護者回答結果より]

- 全体としては昨年度と同様に高い肯定的評価を得ることができました。特に昨年度の結果より課題としていました「学力向上に関する取り組みにおいて」、周知に関しても取り組みの評価に関しても大きく肯定的評価が伸びています。研究発表や全国学力テストの結果など目に見える事象だけでなく、放課後学習や学習習慣の定着など普段の活動が認められるようになったのだと考えられます。
- 社会的な課題の会話機会を増やしたり、キャリアパスポートを利用したりなど、子どもたちに社会とのつながりに目を向けさせているご家庭が増加しています。社会的関心を高め主体的に生きる力を育てるためには不可欠なことです。今後とも学校と家庭が協力して精力的に取り組んでいきたいと思えます。
- 昨年度評価が上がった「相談しやすい環境」や「学校と家庭・地域の連携連絡」についての評価が下降し、元に戻ってしまいました。学校としては常に門戸を開いているつもりなのですが、周知アピールが足りないのかもしれませんが。次年度に向けて、発信物の活用など改善の努力をしてまいります。
- PTA活動、地域活動は子どもにとって意義があるとお考えの方はある程度いらっしゃいますが、その参加については継続的に低い中さらに下がっています。コロナの影響で活動が狭められていることが大きな原因と考えられます。今後は従前の活動の模倣ではなく新しい形を作らなければなりません。地域のフェスタも新しい試みとして『フラワーフェスタ』を実施いたしました。これからも子どもたちのため、住みよい地域を作るため、コロナ禍においても実施可能な新しい取り組みを進めてまいります。

[児童回答結果より]

- 昨年ほどではありませんが、子どもたちの肯定的評価も伸びています。「自分には良いところがある」（自己肯定感）、「人の役に立っていると感じる」ところがある」（自己有用感）が今年度も大きく伸びています。学校として大切にしてきた部分ですので、数値結果として確認することができうれしく思います。
- 普段の授業の中で、自分たちで答えを見つける話し合い活動、自分たちが考えたことを伝える発表の活動が増えていると感じてくれています。これからの社会を生き抜くためには創造力、発信力は絶対に必要な力です。そのために授業研究にも取り組んできました。わずかな前進ですが、この一歩を止めないように今後とも努力を続けてまいります。

- 「いっしょに遊ぶ友達がいる」「勉強がわからないとき、先生や友だちに聞くことができる」「学校の行事は楽しい」等、めざす子ども像である『つながりを大切にする子』を具現化した質問項目に対する肯定的回答が大きく増加しています。今後も友だちや周りの人たちに支えられるありがたさ、誰かの支えとなる喜びをしっかりと体験できる活動を創造していきます。
- SDGs等社会的課題について話し合う機会は大きく伸びていますが、社会的課題を解決したいという意欲や解決できるという自信にはつながっていません。まずは自分たちのグループの中で学級の中で、集団としての課題を掘り起こし解決する体験を積んでもらう必要があると考えられます。周りの大人は時間がかかっても、じっくり話を聞いて助言を与えながら自分たちで解決するように指導しなければなりません。学校と保護者が協力して頑張りましょう。
- 健康、運動に関する肯定的回答がわずかですが、減少していることが気になります。Withコロナの風潮が大きくなり、学校での活動範囲も大きくなりました。水泳授業も本格的に開始し、黙食も少し緩和されました。様々な対応が変わるたび、子どもたちには注意喚起してきましたが「自分たちの健康を自分たちで守る」という意識の醸成が十分でなかったのかもしれませんが。もう少し子どもたちに健康について考える機会を作り、どのような社会状況においても対応できる力を身につけられるよう努力します。